



KAKUDAI

012-503

分水つぎてセット

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

製品同梱明細・各部のなまえ

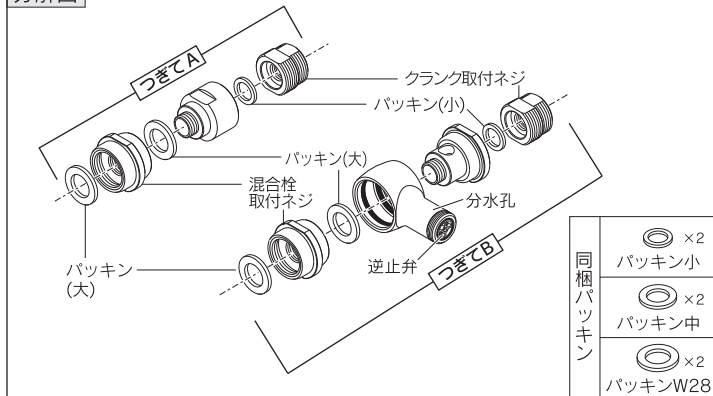
製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

このたびは、分水つぎてセットをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。ございました。

■ 施工される際は、製品同梱明細で各部材をご確認の上、ご使用ください。

品名	個数
つぎて A	1コ
つぎて B	1コ
パッキン(小)	2コ
パッキン(中)	2コ
パッキン(W28)	2コ
施工説明書	1コ

分解図



安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

施工上のご注意

- 分水孔をご使用になる場合は、必ず取り付ける器具の取扱施工説明書などで使用温度や使用条件などをご確認の上、正しくご使用ください。
- 60℃以上に設定された給湯器には使用しないでください。器具の破損および故障の恐れがあります。
- 浄水器・整水器に分岐される場合は、必ず水側に分岐してください。
- 湯沸器への分岐には使用しないでください。器具の破損および故障の恐れがあります。
- 電気温水器または高温出湯タイプの給湯器には使用できません。
- 凍結の恐れがある所には設置しないでください。器具の破損および水もれの恐れがあります。
- 本品を取り付ける水栓に指定工具がある場合は、その工具をご使用ください。指定の工具以外で取り付けをすると傷をつけたり、施工不良の原因になります。

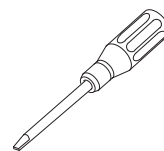
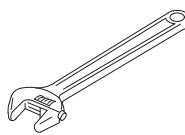
使用上のご注意

- 本品をご使用の際は、必ず開閉バルブとして、分水孔コック(品番:788-805・品番:788-903)などを取り付けてください。
- 分水孔に器具などを取り付けた後、ハンドルやバルブが止水状態になっていることを確認してから元栓、または水量調節弁を開き、各部に水もれがないかを確認してください。
- 高温の湯をご使用中、本品金属部は熱くなっていますので、直接肌を触れないでください。やけどの恐れがあります。
- 分岐と混合栓を同時にご使用になる場合は、必ず混合栓のハンドルは水側から開栓してください。分岐中は、混合栓から吐水されるお湯の温度が通常とは異なるため、湯側を先に開栓しますと高温の湯が出てやけどをする恐れがあります。

施工に必要な工具

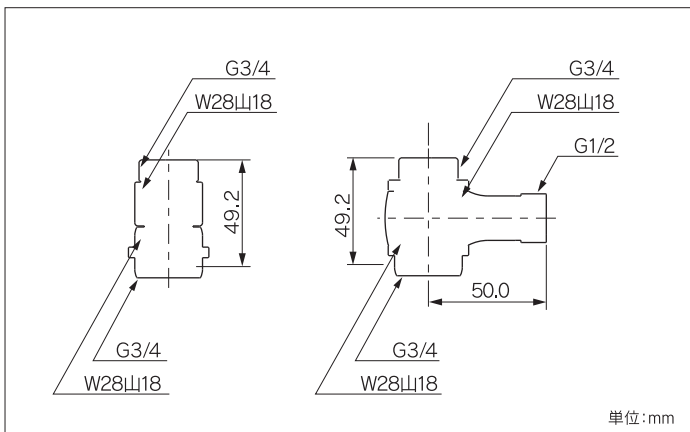
●モンキーレンチ

●マイナスドライバー



寸法図

製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。



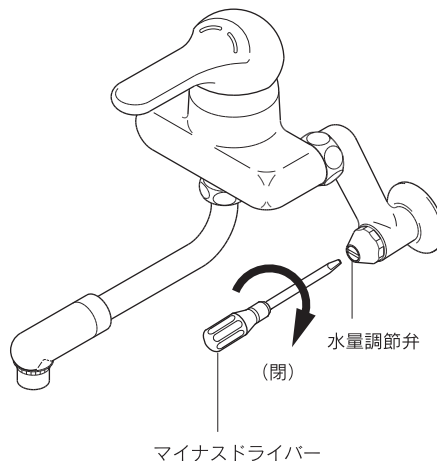
仕様

材質	青銅, 黄銅
使用流体	上水道水
使用温度	5~60℃
使用圧力	0.05~0.75MPa

取り付けの前に

*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を開けて止水します。混合栓のハンドルを吐水状態にし、混合栓内の水を抜いてから取付作業を行ってください。

水量調節弁つきの混合栓をご使用中の場合は、湯・水それぞれの水量調節弁を「マイナスドライバー」などで閉めて止水することもできます。この時、水量調節弁が何周で閉まったかを覚えておいてください。作業終了後の通水時には、覚えておいた回数だけ水量調節弁をまわしてください。



●混合栓を吐水状態にしても混合栓から水が出ないかを必ず確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。

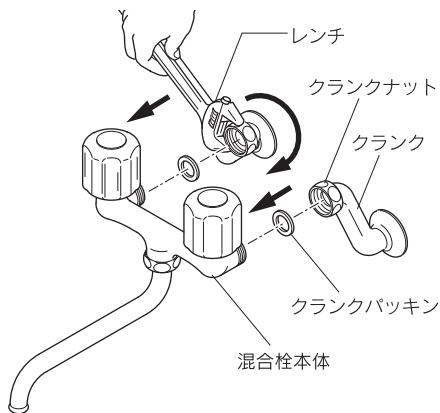
●取付作業を行う際は、軍手・あて布などを使用してください。手などをけがする恐れがあります。

取付方法

* 下記の説明で使用している水栓のイラストは、代表的な機種のもので、部品の取り付け・取りはずしの際は、ご使用中の水栓の付属説明書などを合わせてご確認ください。

1.混合栓本体を取りはずします。

クランクナットを「レンチ」などで矢印の方向にまわし、混合栓本体とクランクパッキンを取りはずします。
* 取りはずしたクランクパッキンは、後で使用する場合があります。なくさないようにご注意ください。



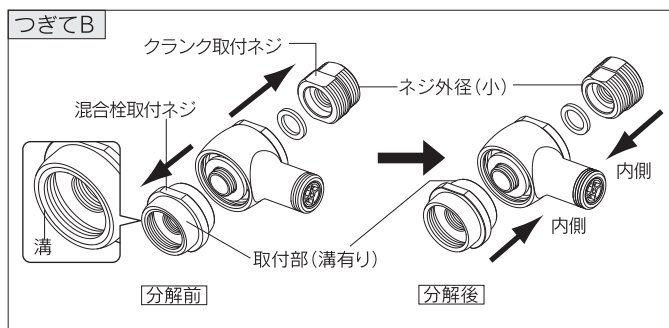
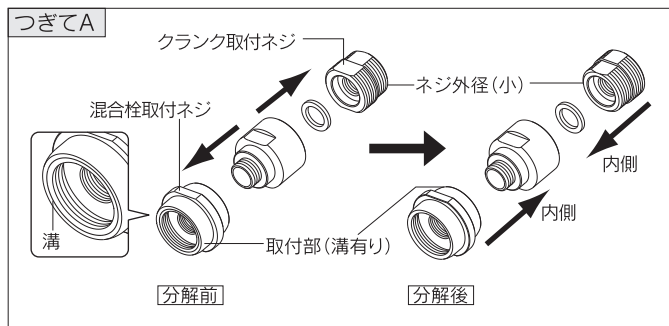
- クランクナットをゆるめる際に、クランクが絶対に動かないようにしっかりと固定して作業を行ってください。クランクがゆるむと、水もれする恐れがあります。
- 取りはずしの際に、水栓やクランク内に残っていた高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。
- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

2.本品を混合栓本体に取り付ける準備をします。

ご使用中の混合栓にに合わせて、以下の作業を行ってください。

I TOTO製の混合栓(2ハンドル混合栓以外) 取付ネジサイズW28山18の混合栓 に本品を取り付ける場合

つぎてA・Bそれぞれの、混合栓取付ネジおよびクランク取付ネジをいったん取りはずします。下図のように、混合栓取付ネジは取付部に溝がある方(ネジサイズG3/4)を内側にし、クランク取付ネジはネジ外径の小さい方(ネジサイズG3/4)を内側にし、再度取り付け、「レンチ」などでしっかりと締め付けます。
* クランク取付ネジに入っていたパッキンは、再度取り付ける際に同じように内側に入れてください。



クランク取付ネジなどで手をけがする恐れがあります。
あて布または軍手などを用いて作業を行ってください。

II I 以外の混合栓 取付ネジサイズG3/4の混合栓 に本品を取り付ける場合

ネジ方向は購入時のままでご使用頂けますので、分解せずに、つぎてA・Bの混合栓取付ネジおよびクランク取付ネジを再度、「レンチ」などでしっかりと締め付けてください。
* 万一分解してしまった際は、「前項II」のイラストなどを参考にして分解前の状態に戻してください。

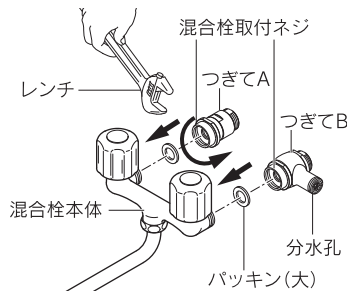
3.混合栓本体に取り付けます。

* イラストは、水側を分岐する場合を示しています。

- ①湯・水どちらか分岐したい側の混合栓ネジ部に、つぎてBを取り付けます。
つぎてBの混合栓取付ネジにパッキン(大)が付いていることを確認してから、混合栓本体に取り付け、「レンチ」などでしっかりと締め付け固定します。
- * 分水孔の向きは、分岐する器具に接続しやすい方向へ回転させてください。
- ②もう一方の混合栓ネジ部につぎてAを、①と同様にして取り付けます。



混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。



* カクダイ製壁付混合栓において、1.で取りはずしたクランクパッキンが、イラスト④のような形状の場合は、本品の混合栓取付ネジよりパッキン(大)を取りはずし、ご使用中のクランクパッキンをそのままご使用ください。

《O133Bを使用している混合栓》

- サーマスタット混合栓(寒冷地仕様のみ)
- オルタ(ORTA)シリーズのシングルレバー混合栓
- リンツ(LINZ)シリーズのシングルレバー混合栓
- ルガーノ(Lugano)シリーズのシングルレバー混合栓

④ (弊社品番:O133B)

クランク用
パッキン



4.クランクに取り付けます。

I TOTO製の混合栓(2ハンドル混合栓以外) 取付ネジサイズW28山18 をご使用の場合

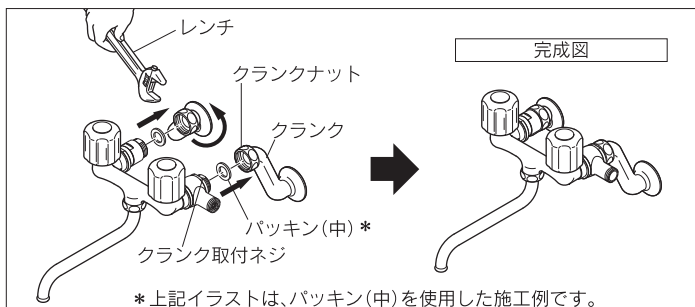
ご使用中のクランクナットに同梱のパッキン(W28)をはめ込んでから、つぎてA・Bをクランクに取り付け、クランクナットを「レンチ」などでしっかりと締め付け固定します。

II I 以外の混合栓 取付ネジサイズG3/4 をご使用の場合

ご使用中のクランクナットに同梱のパッキン(中)をはめ込んでから、つぎてA・Bをクランクに取り付け、クランクナットを「レンチ」などでしっかりと締め付け固定します。

III MYM (喜多村合金製作所)製の混合栓をご使用の場合

つぎてA・Bのクランク取付ネジにパッキン(小)をはめ込んでからクランクに取り付け、クランクナットを「レンチ」などでしっかりと締め付け固定します。



クランクナットを締め付ける際に、クランクが絶対に動かないようにしっかりと固定して作業を行ってください。クランクがゆるむと、水もれする恐れがあります。

5.器具を接続します。

接続する器具に必要な部品を本品にしっかりと取り付け、器具を接続します。

- * 取り付ける器具に付属している取扱説明書などに従って正しく取り付けてください。
- * 本品や他の締め付け部がゆるまないように、器具の取り付けの際はご注意ください。

●取り付け後の点検

- ①本品に器具の接続が完了していることを確認します。
- ②元栓、または水量調節弁を開き、各部から水もれがないかを確認します。
* 水もれが発見された場合は、元栓または水量調節弁を開けて水もれする箇所を施工し直してください。

ご購入店名(施工業者名)

株式会社 カクダイ

本 社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

0613SG

M-C1931A

※この紙は再生紙を使用しています。

無断転載・複写を禁ず